

ようこそ アマチュア無線の世界へ

JR3QHJ 田中 透 Toru Tanaka

アマチュア無線の免許を初めて取った人が、どのようにしてアマチュア無線を楽しめばよいかを紹介
します。運用の初歩から、いろいろな楽しみ方をお届けします。

1-1 大自然を相手にする趣味。アマチュア無線の楽しみ方

皆さん、どのような目的でアマチュア無線の資格を取りましたか？ その目的は人それぞれ違うこと
でしょう。筆者は「見知らぬ遠くの人と知り合いになりたい」と思って免許を取りました。ただし開局当
初は、アマチュア無線のことをまったく知らなかったため、その目的とかけ離れた無線運用をしていま
した。

筆者が初めて電波を出したのは、144 MHz帯のFMでした。当時はこの144 MHzのみがアマチュア無
線だと信じていたからです。今から思えば本当に何も知らなかったと恥ずかしく思います。でも、多く
の方と交信することで少しずつアマチュア無線というものを理解してきたのです。

本章では、当時の筆者のような方のために、アマチュア無線の楽しみ方を紹介したいと思います。

1-2 電波にはいろいろな特徴がある

さて、アマチュア無線の楽しみ方と一言で言ってもここに書ききれないくらいたくさんあります。ま
ずは、基本的なことから紹介しましょう。それは、電波です。これを知らないと前へは進めません。電
波は、漢字のとおり電気の波です。それを周波数(波長)によって区別します。また周波数によって、そ
れぞれ特徴を持っています。

決まった周波数しか割り当てられない放送局などとは違い、アマチュア無線では低い周波数から高い
周波数まで多くの電波を使えます。ここでは、その特徴について解説します。

1-2-1 電離層で反射するHF帯の電波

普段の生活で皆さんが接する機会が多い周波数は、FM放送やテレビ放送などに使われている周波数で
しょう。電波について理解していただくために、まずは「HF帯」と呼ばれる短波放送で使われる周波数
の特徴から説明します。

HF帯は“High frequency”つまり高い周波数を表します。当然、それより低い周波数もあります。例
えば、皆さんがAMラジオでご存じの中波帯“Middle frequency”もその一つです。このHF帯の電波は、
電離層と言われる空高く雲のように漂っているもの(電子の粒)に反射する特徴を持っています。その特